

## 平成27年度第4回物療校友会卒業後教育部放射線部会勉強会報告書

報告者：夏日 勇人

日時：平成28年3月5日（土）18：30～20：30

場所：大阪市難波市民学習センター第4研修室

### プログラム

1, 当院のリニアック日常点検と QA 機器

奈良県総合医療センター 井森先生

2, 胸部領域の解剖

姫路医療センター 喜田先生

3, 救急における CT 撮影の現状と取り組みについて

熊本医療センター 北口先生

### 報告事項

今回は平成27年度最後の勉強会でした。急遽プログラムが変更となり、大阪物療専門学校卒業生であり、国立病院機構熊本医療センターの北口貴教先生に救急最前線の病院での救急 CT 撮影時の取り組みについて発表していただきました。

1 題目の井森先生には、リニアックの日常点検や安全管理において、米国と比べ、マンパワ一の劣る日本での安全管理の手法において、効率化をはかるために行っていることとお話していただきました。

2 題目の喜田先生は胸部領域の解剖の中でも、今回は肺野を中心にお話していただきました。診療放射線技師をやっていくうえでかかせない解剖ですが、肺野は特に苦手な人も多いと思います。その内容をブロンコ体操と呼ばれる、肺区域の分かりやすい覚え方等を織り交ぜてわかりやすくお話していただきました。

3 題目の北口先生は24時間365日救急を断らないこと決めている病院の先生でいらっしゃいます。救急撮影における、被ばくの低減、造影剤腎症の予防のための造影剤の低減や検査スピードの効率化などを急なお願いにもかかわらず大変わかりやすくお話をしていただきました。特に救急をされている技師の方々にとっては貴重なお話になったと思います。当初予定されていた、西先生によるヒューマンコミュニケーションは、時間の都合により、次回以降に延期となりました。

物療大学の卒業生も2期生が輩出される運びとなりました。大阪物療専門学校、大阪物療大学 OB、大阪物療大学大学生が垣根無く学べる環境を整えていきたいと考えております。次年度も皆様のご参加お待ちしております。